

## 1 伝統工芸部門「伝統工芸から学ぶ」

＜目的＞山鹿地域の伝統工芸である山鹿灯籠の歴史や文化、製法や技法を地域の方々や職人さんから講話をいただくことで、地域に根差した伝統工芸を再確認する。さらに、コピー紙を用いた耐震構造建築物コンテストを実施することにより、学んだことを新しいデザインとして活用することで、各学校の探究活動に役立てることを目的とする。

### (1) 山鹿灯籠師組合長より講話及び実技講習



### (2) 崇城大学にて「耐震コンテスト」の実施 (高大連携: 崇城大学工学部建築学科)



## 2 伝統芸能部門「伝統芸能を学ぶ」

＜目的＞山鹿地域の伝統芸能である山鹿灯籠踊りを地域の方々から学び、千人灯籠踊りに参加することで、山鹿地域の良さを再確認し、コロナ禍で中止になっていた地域の伝統行事の地域活性化を図る。

### (1) 学校における練習会(3回実施)

※山鹿灯籠踊り保存会の方を講師に招いて実施



### (2) 山鹿千人灯籠踊りに「One Team プロジェクト」として参加(地域連携: 山鹿市役所観光課)



#### ～千人灯籠踊り出演団体紹介～

灯籠を頭に掲げて踊るようになったのは、昭和29年からです。昭和32年には、婦人会など当時の方々の奮闘により、千人による「山鹿灯籠盆踊り」が実施され、以後市民に引き継がれてきた「千人灯籠踊り」は山鹿市の象徴となりました。出演者は山鹿市民・市外からの参加希望者のほか、下記の団体です。優雅で幻想的な踊りをお楽しみください。

#### 山鹿灯籠踊り保存会

山鹿灯籠踊り保存会は、昭和32年に設立され、山鹿市の観光PRと、灯籠踊りの保存、後継者育成に努めながら技術の向上に励んでいます。「山鹿灯籠まつり」をはじめ、八千代産での定期公演、国内外でのイベント・お祭りに参加しています。

#### 鹿本農業高校 郷土芸能伝承部

創部36年、国内外の舞台で活躍中です。今年11月には、宮城県へ参加し、追悼公演に行きます。灯籠まつり、演者として楽しみます。

#### One Teamプロジェクト

山鹿の魅力を再発見し、地域の活性化を図るため、山鹿地域県立高校は、工学部と芸能部門に分かれ、山鹿の伝統である「山鹿灯籠」を体験しています。今回は伝統部門の高校生15名が千人灯籠踊りに出演します。

#### 大宰府天満宮

福岡県大宰府市の交流行事として数年前より双方の県に参加しています。今年は、大宰府市より巫女、市民等20名が千人灯籠踊りに出演します。

#### 全日本民謡指導者連盟

昭和39年の年創立から社会体育・レクリエーションとしての日本民謡を広く普及させるため、交流ならびに研究を行い、指導者としての資質の向上を図ることを目的に活動しています。全国から約160名が千人灯籠踊りに出演します。

パンフレット  
にも掲載

## 3 One Teamプロジェクト事業による効果

### (1) 「伝統工芸から学ぶ」

鹿本高校STEAM授業のフォーマットを原案としたため、数多くの助言を崇城大学よりいただき、会場も無償で借用できた。各校の生徒は、厳しい条件の中でも工夫しながら条件を満たすタワーの制作に取り組んだ。このコンテストの要項は、各学校でブラッシュアップの上、活用可能としたため、更なる発展が期待される。

### (2) 「伝統芸能を学ぶ」

山鹿市役所観光課から講師の選定など全面的な支援を受けた。反響は数多く寄せられ、来年度も継続して山鹿地域に通学する高校生に参加してもらいたいとの意見が出ており、今回の取組における地域の方々の関心の高さが伺えた。